

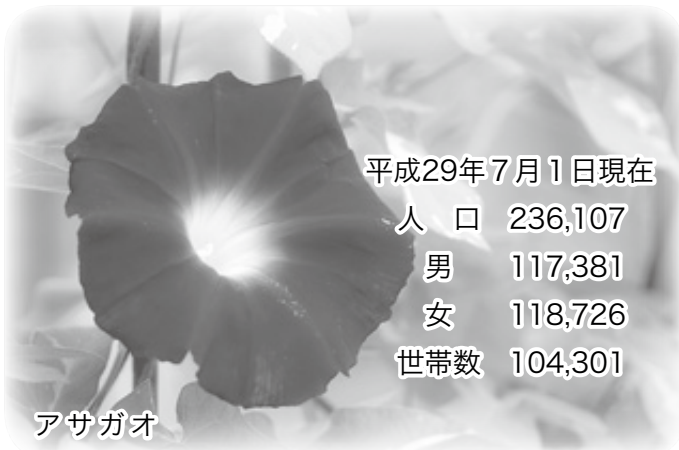
かすかべ KASUKABE 議会だより

2017(平成29)年8月1日発行
発行・埼玉県春日部市議会
編集・広報広聴委員会
<http://www.kasukabe-shigikai.jp/>

第48号



内牧黒沼公園のハス



平成29年7月1日現在
人口 236,107
男 117,381
女 118,726
世帯数 104,301

アサガオ

主な内容

| | |
|----------|----------|
| 主な議案の紹介 | 2 ページ |
| 審議結果 | 3 ページ |
| 議会人事 | 4～5 ページ |
| 一般質問 | 6～15 ページ |
| 議会報告会の開催 | 16 ページ |
| 傍聴して一言 | 16 ページ |

平成29年度一般会計補正予算 (第1号)を可決

専決処分の承認を求め (第1号)を可決

専決処分等の承認を求め (第1号)を可決

(税条例等の一部改正)を承認

平成29年度 一般会計補正予算 (第1号)を可決

平成29年度一般会計補正予算(第1号)は、歳入歳出それぞれ756万円を追加し、予算総額を703億9756万円とするものです。

歳出として、富士見町地下道バリアフリー化整備事業756万円は、エレベーター設置に向けて、調査検討資料を作成するものです。

この事業は、春日部駅に一番近く、利用者の多い富士見町地下道にエレベーターを整備することにより、東西交通における利便性と回遊性の向上を図るものです。

エレベーターの規模は、自転車やベビーカー、あるいは

車椅子を利用される方などが利用できる規模を考えています。

なお、歳入として財政調整基金繰入金金を756万円増額し、今回の補正予算の収支を調整するものです。

また、債務負担行為の設定として、春日部市学校給食調理業務委託について、一部の小学校における給食業務が、開始当初から適切に運営が行われず、市の改善指導に対しても状況が変わらないため、引き続き業務を継続させることは難しいものと判断し、現在の契約を解除しました。

このため、新たな事業者と契約し、速やかに安心安全な学校給食を、提供できる体制とするものです。

【全員一致で原案可決】

専決処分の承認を 求める(税条例等) 一部改正)を承認

今回の専決処分の承認は、地方税法および航空機燃料譲与税法の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、春日部市税条例等の一部を改正したものです。

法との整合性をいち早く図る必要がある部分については、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかであると認めため専決処分をいたしましたので、これを報告し、承認を求めます。

条例の主な改正内容は、所得割の課税標準については、上場株式等の特定配当等について課税方法の選択に係る規定を明確化したものです。

法人の市民税の申告納付および法人の市民税に係る不足税額の納付の手続については、法改正に伴う字句の修正等規定の整備をしたものです。

固定資産税の課税標準については、新たな震災等による代替償却資産の特例の見直し規定を追加したものです。

法第349条の3第28項等の条例で定める割合については、少人数を対象とした保育事業や事業所が運営する保育事業の用に供する家屋および償却資産に係る固定資産税の課税標準の特例率を定めた規定を追加したものです。

法第352条の2第5項および第6項の規定による固定資産税額の案分の申出については、被災した区分所有家屋の敷地が被災市街地復興推進地域である場合における当該土地に係る固定資産税の案分の申し出系統規定を追加したものです。

被災住宅用地の申告については被災した住宅の敷地が被災市街地復興推進地域である場合における住宅用地の申告系統規定を追加したものです。附則については、肉用牛の売却による事業所得に係る課税の特例の延長を行うもので

す。

企業主導型保育事業の施設の用に供する固定資産税について、固定資産税の課税標準の特例率を定める規定を追加したものです。

長期優良住宅の認定を受けた住宅の減額規定の見直しを行うものです。

一定の環境性能を有する車両についてその燃費性能に応じて税率を軽減する特例措置を見直し2年間延長するものです。

税率を軽減する特例措置を適用するに当たり、燃費・環境性能の認定に不正の手段があった場合における賦課徴収の特例を導入したものです。

特定上場株式等の配当等について、特定配当等申告書を提出した場合の課税方法の選択に係る規定を明確化するものです。

優良住宅地の造成等のための長期譲渡所得の課税の特例(軽減税率)の適用期限の延長を行うものです。

租税条約などの締結相手国の金融機関等から支払われる配当等についての課税方法の選択に係る規定を明確化するものです。

【賛成多数で承認】

6月定例会 審議結果

市長提出議案

(○:賛成 ×:反対)

| 議案番号 | 議案名 ()は付託委員会名 | 審議結果 | 新 政 の 会 | 新 風 の 会 | 公 明 党 | 日 本 共 産 党 | 社 会 民 主 党 | 民 進 党 | 無 所 属 |
|----------|---|------|------------------|------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------|-------------|
| 議案第 45 号 | 専決処分の承認を求める(税条例等の一部改正) (総務) | 承認 | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 46 号 | 専決処分の承認を求める(都市計画税条例の一部改正) (総務) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 47 号 | 専決処分の承認を求める(国民健康保険税条例の一部改正) (厚生福祉) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 48 号 | 専決処分の承認を求める(固定資産評価員の選任) (総務) | 承認 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 49 号 | 個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 (厚生福祉) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 50 号 | 税条例等の一部改正 (総務) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 51 号 | 都市計画税条例の一部改正 (総務) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 52 号 | 地域包括支援センターの職員に係る基準及び当該職員の員数等を定める条例等の一部改正 (厚生福祉) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 53 号 | 道路の構造の技術的基準等を定める条例の一部改正 (建設) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 54 号 | 平成29年度一般会計補正予算(第1号) (総務・建設・教育環境) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 議案第 55 号 | 監査委員の選任につき同意を求める[会田 幸一 氏] (付託省略) | 同意 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

請願

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

| 請願番号 | 請願名 ()は付託委員会名 | 審議結果 | 新 政 の 会 | 新 風 の 会 | 公 明 党 | 日 本 共 産 党 | 社 会 民 主 党 | 民 進 党 | 無 所 属 |
|---------|---------------------------------------|------|------------------|------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------|----------------|
| 請願第 6 号 | 所得税法第56条廃止を求める意見書を国に提出することを求める請願 (総務) | 不採択 | × | ○ | × | ○ | ○ | × | × ₁ |

議員提出議案

(○:賛成 ×:反対 -:退席)

| 議案番号 | 議員提出議案名 ()は付託委員会名 | 審議結果 | 新 政 の 会 | 新 風 の 会 | 公 明 党 | 日 本 共 産 党 | 社 会 民 主 党 | 民 進 党 | 無 所 属 |
|----------|---|------|------------------|----------------------------------|-------------|-----------------------|-----------------------|-------------|----------------------------------|
| 議第 3 号議案 | ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める意見書 (付託省略) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | × | × | ○ | ○ ₁ |
| 議第 4 号議案 | 「森友学園」・「加計学園」疑惑の真相究明を求める意見書 (付託省略) | 否決 | × | × ₅ - ₁ | × | ○ | ○ | ○ | × ₁ - ₁ |
| 議第 5 号議案 | 「核兵器禁止条例」制定のために日本政府が積極的役割を果たすことを求める意見書 (付託省略) | 原案可決 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ ₁ × ₁ |

新たな正・副議長決まる

6月定例会において、議長、副議長が辞職したことに伴い、選挙の結果、議長に滝澤議員、副議長に武議員が選出されました。また委員会委員等においても変更がありました。



市議会議長

滝澤 英明

市民の皆様には日ごろより市議会に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

このたび、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、議長の要職を担うことになりました。

議会の活性化を図り、公正円滑な議会運営に努めるとともに、市民の皆様の生活向上のため、誠心誠意努力していく所存でございます。

市民の皆様には一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、就任のあいさついたします。

就任のあいさつ



市議会副議長

武 幹也

暑さ厳しい折、市民の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

このたび、6月定例会におきまして、議員各位のご推挙により、市議会副議長に就任いたしました。微力ではございますが、議長を補佐し、公平かつ開かれた議会運営を目指し、力を尽くしてまいりたいと考えております。

今後、市民の皆様のご理解をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。

議 会 人 事

今定例会において、議事人
事の一部が次のとおり、変更
になりました。

議会運営委員会委員

- (新) 栗原 信司
- (旧) 武 幹也

議会改革検討特別委員会委員

- (新) 金子 進
- (旧) 岩谷 一弘

埼玉県都市競艇組合議会議員

- (新) 滝澤 英明
- (旧) 会田 幸一

江戸川水防事務組合議会議員

- (新) 栗原 信司
- (旧) 武 幹也

監 査 委 員

- (新) 会田 幸一
- (旧) 滝澤 英明

市立医療センター 運営委員会委員

- (新) 石川 友和
- (新) 栗原 信司
- (旧) 岩谷 一弘
- (旧) 武 幹也

空家等対策協議会委員

山崎 進

※新しい協議会です。

全国市議会議長会表彰

平成29年5月24日に開催された全国市議会議長会第93回定期総会において、次の方が表彰されました。

また、6月定例会の会期中に、表彰状並びに記念品の伝達が行われました。

特別表彰【在職20年】

- 小久保博史 議員

表彰【在職15年】

- 会田 幸一 議員

表彰【在職10年】

- 鬼丸 裕史 議員
- 岩谷 一弘 議員
- 滝澤 英明 議員

議 席 の 変 更

今定例会において、次のとおり、議席の変更がありました。

- 岩谷 一弘 議員

14番 ↓ 15番

- 滝澤 英明 議員

15番 ↓ 14番

委員会の構成

| 名 称 | | 氏 名 (◎は委員長、○は副委員長) | | | |
|-----------------------|--------|------------------------|--------------------------|-------------------------|----------------|
| 常 任 委 員 会 | 総務委員 | ◎金子 進 岩谷 一弘 | ○木村 圭一 吉田 剛 | 大野とし子 古沢 耕作 | 今尾 安徳 山崎 進 |
| | 厚生福祉委員 | ◎佐藤 一 矢島 章好 | ○鈴木 一利 河井 美久 | 石川 友和 小久保博史 | 並木 敏恵 栗原 信司 |
| | 建設委員 | ◎栄 寛美 会田 幸一 | ○水沼日出夫 小島 文男 | 坂巻 勝則 蛭間 靖造 | 卯月 武彦 武 幹也 |
| | 教育環境委員 | ◎荒木 洋美 鬼丸 裕史 | ○斉藤 義則 滝澤 英明 | 井上 英治 海老原光男 | 松本 浩一 中川 朗 |
| 議会運営委員会委員 | | ◎鬼丸 裕史 山崎 進 | ○栄 寛美 小久保博史 | 金子 進 栗原 信司 | 松本 浩一 中川 朗 |
| 議会改革検討 特別委員会委員 | | ◎中川 朗 金子 進 河井 美久 | ○古沢 耕作 松本 浩一 小久保博史 | 斉藤 義則 矢島 章好 蛭間 靖造 | 卯月 武彦 鈴木 一利 |
| 広報広聴委員会委員 | | ◎矢島 章好 大野とし子 | ○石川 友和 古沢 耕作 | 水沼日出夫 木村 圭一 | 斉藤 義則 蛭間 靖造 |
| 図書室運営委員会委員 | | ◎矢島 章好 大野とし子 | ○石川 友和 古沢 耕作 | 水沼日出夫 木村 圭一 | 斉藤 義則 蛭間 靖造 |

議会選出各種議会議員・委員会等委員

| 名 称 | 氏 名 | | | |
|-----------------------|----------------|---------------|----------------|---------------|
| 埼玉葛斎場組合議会議員 | 石川 友和 小島 文男 | 今尾 安徳 栄 寛美 | 河井 美久 中川 朗 | |
| 埼玉県都市競艇組合議会議員 | 滝澤 英明 | | | |
| 利根川栗橋流域 水防事務組合議会議員 | 佐藤 一 | 小島 文男 | | |
| 江戸川水防事務組合議会議員 | 斉藤 義則 | 大野とし子 | 栗原 信司 | (藤枝 哲也)※ |
| 監 査 委 員 | 会田 幸一 | | | |
| 市立医療センター 運営委員会委員 | 石川 友和 吉田 剛 | 佐藤 一 海老原光男 | 並木 敏恵 栗原 信司 | 鬼丸 裕史 中川 朗 |
| 農業委員会委員 | 山崎 進 | 中川 朗 | (川鍋美智子)※ | |
| 国民健康保険 運営協議会委員 | 水沼日出夫 木村 圭一 | 卯月 武彦 山崎 進 | 吉田 剛 | |
| 民生委員推薦会委員 | 荒木 洋美 | 河井 美久 | | |
| 都市計画審議会委員 | 坂巻 勝則 | 金子 進 | 海老原光男 | 鈴木 一利 |
| 空家等対策協議会委員 | 山崎 進 | | | |

※ 議員以外から選出



一般質問

市民の声を市政に

議長は職責上（議事整理権）、監査委員は申し合わせにより、一般質問を行っていません。

（文責は、各質問者）

一般質問に29人が登壇

石川市長の今後の市政運営について



鬼丸 裕史
議員

石川市長は、事業の推進にあたり国や県からの補助金や有利な市債を活用し、市の財政負担を最小限に留めており、市長就任時から10年後には実質公債費比率を大きく減少させながら、市立医療センターの開設、藤塚米島線の開通、こども医療費助成の創設等々取り組んでこられました。しかしながら目まぐるしく変化する現代において、常に先を見据えた取り組みを実行していかなければ市政は衰退していきます。

石川市長は今後も春日部市が魅力ある街として持続的に発展していくために、どのようなことが必要だと考えているのか、また10月15日に投票票が決定した春日部市長選挙に出馬する意思をお持ちかどうか伺います。

○市長
あらゆる世代が笑顔でいきいきと暮らせるよう、将来を

見据えた実効性と責任ある施策を確実に推進するとともに、定住促進策としての新市街地整備、武里団地の再構築、企業誘致エリアの拡大など、魅力あるまちづくりのためのさまざまな事業が、市民の皆さまの目に実感として表れるようスピード感を持って、着実に進めてまいります。

愛する春日部をさらに元気にするため、引き続き現場主義を貫きながら、市政運営に全力投球し、心新たな決意と覚悟を持って、10月の市長選に出馬してまいりますと考えています。

外部指導等における本格的導入について



鈴木 一利
議員

春日部市内各中学校では活発に部活動が行われていますし、また素晴らしい結果を残してもいます。

文部科学省では今年度4月より本格的な部活動改革に乗り出し、その中で部活動指導員制度のガイドラインが策定され、外部指導者を明確化し

ています。

そこで春日部市の外部指導者の現状と国で策定された部活動指導員制度の概要を伺います。

また、この部活動指導員制度の導入に向けての本市の見解を伺います。

○学務指導担当部長

本市の外部指導者の現状は、学校の実情に応じて、それぞれの学校で判断し、市内13の中学校のうち12校で52人の外部指導者が導入されています。運動部だけでなく、文化部でも外部指導者を導入しているところもあります。

国で策定された部活動指導員制度の概要は、部活動において、校長の監督を受け、技術的な指導に従事することや実技指導、安全に関する指導、学校外での活動の引率等の職務にあたること等が示されています。

部活動指導員制度の導入に向けては、今後、国や県、他市町の動向等を注視し、調査研究してまいります。

このほか

○ふれあい教育のさらなる充実を

○アレルギー対策の強化について

自校直営方式による 安全でおいしい学校給食を



松本 浩一 議員

今年度に入り、春日部地域の一部の学校（立野小、豊春小、宮川小、内牧小、八木崎小の5校・Bブロック）で、時間通りに調理ができない、メニュー通りの給食ができないなどの問題が発生しました。

その結果、5月末をもって、当該事業者との契約を打ち切り、6月1日から新たな事業者と契約を締結しました。

今回の重大事態は、一般競争入札で春日部地域での調理経験のない業者に委託したことに問題がありますが、根本的には3年ごとに契約を締結する調理民間委託そのものに原因があります。

学校給食を安全に安定的に行うには、継続性、専門性が必要となります。調理民間委託では、栄養職員が直接立ち入ると偽装請負となり、法律違反となります。安全でおいしい給食を提供するには自校直営方式に戻すことが必要で

す。庄和地域もセンター方式から自校方式にすべきと考えますが、市の考えを伺います。

○学務指導担当部長

今回の事態は、民間委託に問題があるのではなく、受託業者の責任意識と、業務スキルに原因があったと考えています。業務委託更新時に、入札参加条件、入札手法の見直し等を行うことで再発防止に努めます。現時点で庄和地域における自校方式への移行は検討しておりません。

このほか

○認可保育所の増設で待機児童の解消を



学校給食調理の様子

高齢者福祉 敬老会について



山崎 進 議員

1966年に、敬老の日として、9月15日が国民の休日定められました。現在は9月の第三月曜日に移行しています。春日部市は、敬老の日に近い、土曜、日曜に敬老会を開催しています。75歳以上の方を招待していますが出席率が低調です。春日部市は日本一いきいきと老後を過ごせる街を目指しています。敬老会への出席率をどのように考えているのか、今後の取り組みについて伺います。

また、敬老会の老は、「老いている、老けている」といった印象がありますが、今は実年齢よりも10歳、15歳若く見え、若返っています。敬老会の招待状に抵抗を感じている人もおり、半世紀にもなる敬老会の名称を春日部市独自の名称に変えてみたらいかか、それによって出席率が上がるのではないのでしょうか。

○福祉部長

参加者数は増加傾向にありますが引き続き、より多くの皆さまに参加いただけるよう、多くの皆さまのご協力をいただきながら実施していきたいと考えています。また、名称変更につきましては、今後近隣市も見ながら、十分に調査をさせていただきます。

○市長

今後も敬老会については、本当に来てよかったと思っただけのような会を実施してまいります。

このほか

○学校教育
○道路行政

国籍問題について



井上 英治 議員

民進党の蓮舫参議院議員の二重国籍が一時問題となりましたが、国籍問題の取り扱いは一義的には地方自治体での取り扱いになりますので市での対応について伺います。日本国籍を取得するには、帰化する。両親のどちらかが日本人であること。二重国籍は違

法なので22歳までに国籍選択し外国籍喪失届を提出する、ということですが、蓮舫氏は違法状態を放置しています。そこで、以下伺います。

①市では一般市民が二重国籍解消のため、国籍選択等を行うに際する事例はありますか。②市職員に外国籍者は採用されていますか。③総選挙、市議会選挙等で候補者の二重国籍をチェックしていますか。

○市民生活部長

①国籍選択を平成28年度に当市で行った件数は、国籍選択届が9件、国籍喪失届が3件、届出されています。

○総務部長

②採用試験では、事務職や消防吏員等は日本国籍を有することを受験資格としており、外国籍を有する職員は医療職を除き在籍していません。

○選挙管理委員会事務局長

③選挙では日本国民であることを証明する「戸籍謄本又は抄本」の提出があり、候補者届出書の記載内容と添付書類に問題がなければ候補届の受理を行うこととなります。

このほか

○春日部市の祭りについて
○教員の多忙化と学校の部活動について

鉄道高架を早期実現しよう！



岩谷 一弘
議員

平成17年の着工準備採択から12年、全く進まなかった鉄道高架事業は、当市の発展に暗い影を落としております。再び春日部が輝くまちとしてにぎわいに包まれるためにも、現段階としては鉄道高架事業が最善であると思われれます。そしてこれによつて、春日部駅が、県東部中核の駅として再生でき、完成すれば、本当に素晴らしいものになるということは重々理解できます。そこで、進まない問題点をどう捉えているのか。また、国、埼玉県、東武鉄道と当市との協議状況はどうなっているのか。また、事業期間に大きな影響を与える側道の取り扱いについて、質問します。

○鉄道高架担当部長

今年度は、県、東武鉄道、市の3者で協力し、新たに都市計画手続きの前提となる国土の設計協議を開始予定です。そのため、財源の確保、事業

期間の短縮、まちづくりといった課題の解決も目指し、鉄道施設の位置や施工方法などについて、3者で連携を密にとり、総合的に検討を行ってるところです。側道を配置する箇所や必要性につきまして、当事業、またこれを契機としたまちづくりを進める上で、大変重要な項目の一つとして認識しています。一方、事業期間の短縮や事業費にも密接にかかわってくるものですので、3者で連携を密にとり、総合的に検討をいたしまして、早期事業化に向けて全力で取り組んでまいります。

北春日部駅周辺地区のまちづくりについて



金子 進
議員

国は、地域交通と連携してコンパクトなまちづくりを進めることが重要であるとしており、春日部市でも人口減少と同時に高齢化が進んでおり市内各駅を拠点としたコンパクトなまちづくりを進めていかなければなりません。北春日部駅周辺地区は北春

日部駅から1キロ以内で徒歩圏内にあり、都市的土地利用の転換について検討されているようですが、取り組み内容の経過と地権者の合意形成及び基本構想。そして、今後の取り組みについて伺います。

○都市整備部長

地元地権者により構成されたまちづくり発起人会において、地権者一人一人の意思を確かめる必要があると判断し、まちづくり基本構想案と土地区画整理準備会の設立に対して書面をもって賛同を求めました。これにより、賛同が88パーセントに達し一定の合意形成が図られていると判断しています。しかし、まだ賛同いただけていない方もいらっしゃいますので、引き続き賛同いただけるよう合意形成に努めてまいります。

北春日部駅周辺地区まちづくり基本構想では、多くの世代が住みたくなる、魅力あるまちを目指して、まちづくりの基本方針と土地利用構想が示されています。今後は、土地利用構想を具体化させた事業計画の検討に取り組んでまいります。

○再任用職員について

このほか

自治会のあり方について



栄 寛美
議員

住みよい地域社会づくりのため自治会関係者におかれては、公のため多くを担っていただいている事に感謝と敬意を表します。市民の皆さまから頂いたご意見をもとに以下質問します。

- ①自治会加入のメリットについて
- ②自治会員の皆さま一人一人がメリットを理解して積極的に加入促進を図れる環境について

○市民生活部長

①自治会加入のメリットは、広報かすかべなど行政情報の入手、自主防災対応の向上など多数ありますが、目に見えるメリットだけではなく、地域のために貢献したい、地域を少しでも良くしたい、地域の皆さまの喜ぶ顔を見たい等、メリット、デメリットを超えた熱い想いや使命感こそが、本来の自治会活動の魅力であり、活動のエネルギーになっ

ている面もあると考えています。このような地域貢献活動を通じた自己実現や達成感、満足感こそが自治会活動における大きなメリットとも考えています。②自治会役員の皆さまが積極的に加入促進に取り組むことができるよう、必要な情報やポスター、リーフレットなどの制作物を、自治会連合会を通じて提供し、地域に合った加入促進に努めていただけるよう、引き続き支援してまいります。

このほか
○かすかべ未来研究所について



庄和総合支所での自治会活動パネル展示

子どもたちに、 学校施設長寿命化計画



水沼日出夫
議員

3月定例会に続いて、学校校舎のトイレのことで、広報かずかべ5月号によれば、今年度中に学校施設長寿命化計画(案)の市民意見提出手続きを実施予定とあり、計画の策定に向け動き始めました。まずは検討、策定を進めていく上での体制と今後の策定スケジュールから伺います。また、校舎トイレ環境を含む学校施設の老朽化状況の実態調査や、その結果から行われる施設ごとの整備、改修等の優先順位付けが具体的にどのように行われるのか伺います。

○学校教育部長

春日部市学校施設長寿命化計画策定検討委員会を設置し、平成30年2月下旬には計画を確定していきたいと考えています。また、校舎のトイレ環境の整備水準についても、計画策定の中で検討していきたいと考えています。

学校施設の老朽化状況につ

きましては、施設ごとの劣化状況調査票を作成し4段階の評価を行います。

改修等の優先順位付けは、劣化状況調査の評価により健全度という評価指標による点数化を行い、優先順位を算出しますが、改修を進める具体的な計画は、点数だけでなく学校の規模の状況や児童生徒数の推移、学校周辺の公共施設の状況等、総合的に判断した上で検討する必要がありますものと考えます。

このほか
○春日部市建築物耐震改修促進計画について



学校のきれいなトイレ

就学援助制度 入学準備金を入学前に



荒木 洋美
議員

就学援助制度は児童生徒の家庭が経済的に困窮している場合、学用品や給食、修学旅行等の一部を市区町村が支給し、要保護児童生徒の保護者に対し国がその2分の1を補助する制度です。今回、文部科学省は「要保護児童生徒援助費補助金要綱」を平成29年3月31日付で改正し、就学援助要保護児童の新入学児童生徒学用品費の単価を従来の倍額にするともに、支給対象者に新たに就学予定者を加えました。また、この改正に合わせ平成29年度からその予算措置を行うと通知がなされましたが、本市の今年度の取り組みと来年度入学前からの支給について伺います。

○学務指導担当部長

ご指摘のとおり国の要綱が見直され、新入学児童生徒学用品費等の単価が従来のおよそ倍額に改正されたことから、市としてもこれまでの対応と

同様、今年度の支給単価見直しを行っていききたいと考えています。

また、入学前の支給につきましても、就学予定者の把握、認定審査方法、システム改修など課題も多くありますので、今後、調査研究を進めていきたいと考えています。

このほか

○女性の視点を生かした防災対策を

○選挙におけるやさしい支援が必要な方への取り組み

○モデル校となるような庄和北部地域の小中一貫義務教育学校に

東埼玉道路の進捗と 周辺整備について



海老原光男
議員

東埼玉道路においては4号バイパスの渋滞解消など、道路を整備する上で直接的な効果も大きいと思われるが、本市にとつては東埼玉道路が整備され、沿線地域の土地利用が計画的に推進されることで、間接的な効果が大きい期待できるのではないかと認識

しています。

そして、この東埼玉道路周辺においては、現在、農地が広がっており、東埼玉道路は、約8割が水田等の農地を通過するとのこと。

この農地が新たな工業団地などとして整備されることにより、企業誘致が推進され、経済の活性化、担税力の向上、雇用の促進など、本市にとつて経済効果は非常に大きいと考えます。

そこで東埼玉道路周辺の土地利用について市はどのように考えているのか、見解を伺います。

○都市整備部長

東埼玉道路の整備促進には、ストック効果を最大限発揮できるよう、沿線の都市的土地利用への転換を行う必要があります。これは担税力の強化や雇用機会の拡大につながり、選ばれるまちの実現に寄与するものです。しかし、沿線には農業振興地域・農用地区域に指定されている農地が多いことから、まずはその指定がされていない庄和インター周辺における産業集積を進めていきます。

このほか

○「働き方改革」について

かすかべつ子 インターネット 事情について



一 議員
佐藤

春日部市青少年健全育成審議会において平成28年8月に「インターネットの安全な利用」についての報告書を纏めました。そこで以下伺います。

①アンケート調査の概要について。②インターネットのトラブル等について。③学校の状況と取り組みについて。④アンケート調査をもとに作成された報告書についての提言について。⑤提言を受けての事業への取り組みと今後の取り組みについて。

○社会教育部長

①小中学生の携帯電話の保有状況や利用に関するルール設定状況等の調査です。

○学務指導担当部長

②相手を中傷する書き込み、不適切な画像の送信や投稿などが生じています。③小中学校では、インターネットを利用する際のルールや正しいマナーを子どもたちや多くの保護者にも知っていただくよう

講座を実施しています。

○社会教育部長

④家庭教育、学校教育、保護者教育のそれぞれの重要性について提言をいただきました。⑤啓発チラシを作成、配布しフィードバックやルールについて周知しました。青少年健全育成審議会では、インターネットに関する市の標準ルールの作成に着手し、今後保護者や児童・生徒の意見を集約し、平成29年度中に標準ルールを提案し、保護者や学校に周知していく予定です。

このほか

○起業家教育について

教科・領域で育てる 政治的判断能力について



好 議員
章 矢島

総務省が設置した主権者教育の推進に関する有識者会議が今年の3月末、主権者教育の現状と課題、今後の方向性などについて、その審議内容がとりまとめられており、20歳代の有権者の投票率35・60パーセントに比べ、10代有権者の投票率は、18歳で51・28

パーセント、19歳で42・30パーセントであり、10代有権者の投票率は高く、初の国政選挙ということで記念として投票した10代などもおり、主権者教育は、緒についたばかりであることから、今後の主権者教育の推進ならびに、政治的判断能力の育成の取り組みについて市の考えを伺います。

○学務指導担当部長

政治の働き、国民主権を實現する選挙の制度や意義などを学習しています。また、学級の課題を話し合っ解決するなど、自分の意見によつて課題が解決されることを感じる体験により、国や社会の問題を自分の問題として捉え判断し、行動していく主権者としての資質の育成に努めています。これまでの実践を踏まえ、主権者教育の推進、政治的判断能力の育成について調査、研究を進めるとともに、効果的な実践例について情報提供するなど啓発を図ってまいります。

このほか

○民生委員・児童委員の支援による不登校の改善について
○幼児期における科学的体験について

環境基本計画の 策定について



朗 議員
中川

春日部市の環境の未来のためには、市・市民・事業者は自らの成すべきことを成し、互いに存在を認め合つて歩む必要があります。

春日部市環境基本計画は、10年間という一定の期間を区切つて策定することですが、私たちの生活や経済の活動による影響は、20年、30年、それ以上経つてから現れることもあり、より長期的な視点をもつ必要があると考えます。

平成21年に春日部市は「環境都市宣言」をしています。環境都市として前進するためには、やらなくてはならないことが山積しています。長期的な視点から見て何を重点的に進めなくてはならないか、考えを伺います。

○環境経済部長

今後の環境基本計画の各施策の推進には、市民・事業者の皆さまとともに、日常生活や事業活動に係る環境保全の

問題点を共有化し、その解決方法を考え、一つ一つの取り組みを積み重ねる、そうしたみんなで進める環境保全への行動が、最も重要で有効なものと捉えています。

そのための基本となる、市民・事業者・行政が一体となつて環境保全を進めるネットワーク組織として、仮称ですが、春日部市環境推進協議会などの組織を整えることが必要であると考えています。

このほか

○教職員の働き方改革について

○学校再編について



ほほら春日部における環境月間の様子

一ノ割駅前広場について



小久保博史
議員

これまで一ノ割駅前、朝夕に多くの鉄道利用者がいるにもかかわらず、送迎の自家用車やタクシー、自転車、歩行者で混雑し、大変危険な状態でした。

平成29年3月に一ノ割駅に駅前広場が整備され、混雑の解消が図られたとのことですが、タクシーはここに移動するのかと思いきや、以前と同じく駅のすぐ前。朝夕は子ども等を送迎する車も駅前に来るため、混雑緩和になったのか微妙なところです。

駅利用者からはさまざまな声があり、整備を評価する声がある一方「整備がなされたが、改札口まで遠いため使い勝手が悪い」や「駅前広場がなぜ整備されたのか知らない」といった声も聴いています。改めて、整備に至った経緯について伺います。

○都市整備部長
一ノ割駅は、乗降客の多い



一ノ割駅前広場ロータリー

駅で、特に通勤通学の時間帯の改札口付近は大変混雑する危険な状況で、また、駅前広場等がないことから、公共交通等への乗り継ぎ、乗り換えの不便さといった課題がありました。そこで、一ノ割駅利用者の安全性、利便性の向上を図るため、駅前広場の整備構想内の地権者に一時的な整備にご理解をいただいたものです。地元自治会や商店会と協働して駅前広場の整備計画がまとめられたことから、昨年度、整備を行ったものです。

このほか

○通学路の安全対策について

無料Wi-Fiの設置について



木村圭一
議員

観光目的の訪日外国人は年々増加傾向の中、日本に来て一番不満に思っていることは、無料Wi-Fi整備が整っていないことのようにです。そこで、観光の配慮から千葉県「道の駅ながら」では、

自販機の売り上げ手数料の一部を活用する事で、オーナー側の負担なしでWi-Fi提供できるWi-Fi自販機を設置しています。

この取り組みを本市で行えないものか、また、本市のシンボルである市庁舎や、今後予定される新庁舎も防災という視点ではWi-Fi整備は必要と考えますが、市の考えを伺います。

○環境経済部長

施設利用者の利便性の向上が期待できるため、観光施設を利用して、外国人観光客の誘致や地域活性化の観点から、自動販売機を利用した無料Wi-Fiを含めた無料Wi-Fi

Fiの整備を考えてまいります。

○総務部長

本庁舎の主な機能は、各種証明書の発行や申請の受付を行う事務所としての機能であり、観光関連施設のような集客を目的とする施設とは異なります。新庁舎については、大規模災害時を含めた設置による有効性、庁舎の本来の機能などを勘案し、設計を進めるなかで総合的に調査研究していきたいと考えています。

このほか

○ESCO事業について

○スマホでいじめ相談

待機児童の定義の変更を受けて



古沢耕作
議員

本年3月30日、厚生労働省は、地方自治体ごとにバラバラだった保育所の待機児童の数え方を統一する新定義を示しました。「預け先が見つからず、やむを得ず保護者が育児休業を延長した場合」などは、待機児童に入っていないと

カウントしていましたが、今後はカウント

されます。

そこで伺います。本市の待機児童数は、今年度大幅に増加しましたが、新しい基準に沿って算出すると、その数はどうなりますか。

また、この待機児童を減らすため、私は以前から、国の方針に従い、地域型保育である小規模保育所を活用することを強く求めてきました。ちなみに、昨年12月定例会で、小規模保育所の認可数を尋ねたところ、近隣のさいたま市では57施設、越谷市でも29施設あるのに対し、「本市はゼロ」との答弁でした。小規模保育所を活用し、待機児童解消に取り組むことを要望しますが、市の考えを伺います。

○子育て支援担当部長

待機児童数は、新定義で示された確認方法などに基づいて算出した場合、一定程度増加することが予想されます。

○市長

小規模保育事業等の活用も含め、認可保育所及び認定こども園を主体として待機児童の解消にしっかりと取り組んでまいります。

このほか

○「多文化共生」による地域の魅力アップを

いちご農家の 持続的経営のために 後継者の育成を



大野とし子
議員

春日部市のいちご農家は最高23軒から現在11軒に減少しています。地域の特産品にとり組んできた庄和地域下吉妻地区は、高齢化による後継者不足でここ数年いちご農家が減少しています。農家の皆さんは、自分たちで頑張ってきたいちご栽培なので、継続していきたいと考えています。また、市全体ではこの間、いちご農家が数軒増えており、今、持続的経営のために後継者育成が求められています。越谷市は、いちご生産は観光農園として高収入も期待でき、都市型農業に適している。と捉え、「都市型農業経営者育成事業」に取り組み、7人の後継者を育てました。春日部市も都市型農業に適した地域です。市として、いちごの生産をどのように認識し、後継者の育成をどのように考えているのか伺います。

○環境経済部長

いちごは、市場出荷のほか、直売や観光農園としての摘み取りなどさまざまな販売手段があり、冬場を中心とした農産物として消費者の方に人気があり、購入される量も多く、加工しやすいことなどから魅力的な農作物と認識しています。後継者の育成につきまとは、市内の農業団体とともに一緒に進めてまいります。

このほか

○放課後児童クラブ指導員が働き続けられるように処遇の改善を

武里団地の活性化で 若者に選ばれ 街づくりを



並木 敏恵
議員

議会「地域活性化対策検討特別委員会」は今年3月、人口減少対策などについて調査研究してきた内容を報告書にまとめました。

春日部市の人口減少の特徴は25歳から35歳の若者、子育て世代が他市に流出していることです。武里団地は老朽化

していますが、公園、スーパー、病院、保育所、学校など生活と子育てに必要な基盤が整っています。現在500戸を超える空き家がありますので、ここに若者、子育て世代を呼び込むことができれば、武里団地の活性化と人口減少に歯止めをかけることができます。

特別委員会も人口減少対策の一つとして武里団地の活性化は重要なテーマで、URへの働きかけと、市の独自の補助を提案しています。特別委員会の報告について今後の対応を伺います。

また、若い世代を呼び込むために、定住希望者や新婚世帯に家賃を補助するなど、市独自の事業を行うべきと思いますが、いかがでしょうか。

○総合政策部長

地域活性化対策検討特別委員会の報告は、重要な課題と認識しています。

武里団地の若い世代の入居促進に向けて、URと協議を重ねながら取り組んでまいります。新婚世帯などへの家賃補助は難しいと考えます。

このほか

○国保都道府県単位化を前に社会保障としての国保を

公共施設に 防犯カメラの設置



栗原 信司
議員

初当選以来、市民生活を守りたいとの思いで、平成14年に犯罪発生が多い街角に防犯カメラを設置すべきと訴え、その後、平成16年には小中学校に防犯カメラを設置すべきと訴え、さらに平成23年には富士見町地下道に防犯カメラを設置すべきと訴え、直近では一昨年に公共施設の駐車場に防犯カメラを設置すべきと訴えてきました。その結果、これまでに多くの防犯カメラを設置していただきました。

しかし、最近、市内の公共施設内で市民の善意につけ込んだ事件が起きました。一つには、このような案件が起きた場合、再犯防止に向けてどんな対策を講じているのか、2点目として、子ども達が利用することの多い社会教育施設などへの防犯カメラの設置の方向性について伺います。

○総務部長

再犯防止に向け、日常点検

や見回りの強化に職員一丸となり取り組んでいます。

○社会教育部長

社会教育施設の設置数は少ないですが、新設することにより、犯罪の未然防止や利用者の皆さまの安心感などに繋がることから、今後も関係部署と調整を図ってまいります。

このほか

○テレワーク・キッズウィークに関連した働き方改革について

○受動喫煙防止条例の制定について

○まちなかの暑さ対策について



中央公民館内の防犯カメラ

地域公共交通の維持と
今後について



蛭間 靖造
議員

全国的な人口減少の中で地域公共交通に対する社会的役割は大変重要となってきた。①春日部市における、交通施策の考えについて伺います。②埼玉県の乗用車の登録台数は、愛知県に次いで全国で2番目に多く、モーターリゼーションが進展しています。市内の各公共交通の役割について伺います。③交通事業者の不採算路線からの撤退や運行規模の縮小といった話をよく聞きます。本市においては不採算路線における交通事業者の現状について伺います。④移動手段を持たない人たちの公共交通の確保について伺います。

○都市整備部長

①春日部市地域公共交通網形成計画に基づき、公共交通ネットワークの推進を図っています。②鉄道や路線バスを主要公共交通機関と位置付け、春バスは鉄道や路線バスを補

完する交通手段と位置付けています。③定住人口や労働人口の減少により公共交通の利用者が減少し、交通事業者の不採算路線からの撤退による地域公共交通ネットワークの減少や運行回数等のサービス水準の大幅な低下は、大きな課題と考えています。④今後のコンパクトなまちづくりの実効性を担保するには、諸機能が集約した拠点同士、拠点と住居エリアを結ぶ地域公共交通ネットワークを構築することが重要です。

このほか

○道路の維持管理について



地域公共交通の一つである春バスのバス停

ニーズに合った運行で
春バスの充実を



坂巻 勝則
議員

春バスは昨年7月に第三次運行が開始され、多くの皆さまから「朝9時台の便が無くなり使いづらくなった」との声が寄せられていました。第三次運行では、通勤や通学にも利用できるようにと始発を早め、最終を遅くしました。また、ウイングハットなどの新規バス停の設置なども行いました。しかし、バスの増車は行わず、従来の3台で運行している為、昼間の運行本数が減少してしまい、一番利用者が多かった朝9時台の便が廃止されてしまいました。その結果、昼間の利用者は減少してしまい、早朝・夜間の利用もほとんどありません。平成27年度と第三次運行の1カ月平均利用者数を比べると、幸松地区ルートが1666人減、約30パーセントの減少。庄和地区ルートは738人減、約44パーセント減少。豊春駅ルートも745人減、

約44パーセントの減少となり、3ルート全てで利用者が激減してしまいました。

これでは、ニーズに合ったダイヤ改正とは言えません。早急にニーズに合った改正を実施すべきと強く求めますが、市の考えを伺います。

○都市整備部長

第三次運行では、路線の拡充と他の公共交通との乗り継ぎを考慮したダイヤ編成としており、定着には一定の期間が必要と考えております。

このほか

○部活動における教員と生徒の負担軽減を

体育施設の整備で
若者に選ばれるまちに



今尾 安徳
議員

国のスポーツ基本法では、「スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは、全ての人々の権利であり」が、法の基本理念となったことで我が国のスポーツの発展に新たな展望を開く可能性を広げました。同法第4条で「地方公共団

体は、基本理念ののっとり、スポーツに関する施策に関し、国との連携を図りつつ、自主的かつ主体的に、その地域の特性に応じた施策を策定し、及び実施する責務を有する。」と明記しています。当市においても、大沼陸上競技場や、請願採択された芝のサッカー場の進捗状況、市民からも要望が出されている市民プール建設などどのようなように考えているのかそれぞれお答えください。

さらに、市長はリーダーシップで早急に検討していくべきだと考えますが、市長の見解を伺います。

○社会教育部長

大沼陸上競技場と芝のサッカー場は、体育施設整備基本計画の見直しの中で検討していきたいと考えます。現時点で体育施設としての市民プールの建設は考えておりません。

○市長

本市のスポーツ施設につきましては、スポーツを通して生涯学習の充実が図れるよう、体育施設整備基本計画の見直しに取り組んでまいります。

このほか

○就学援助制度の充実と入学準備金の前倒し支給を

学習困難児・低学力児に きめ細やかな指導を



卯月 武彦
議員

少人数学級と学習支援助手の増員で行き届いた教育を求めます。

A D H D等の障害児や、日本語が分からない外国人等困難を抱えた児童・生徒がいま
す。また、極端に学力が低い児童・生徒もいます。それら
の子どもには、個別にきめ細やかな対応が必要です。

現在、小学校1・2年と中学1年が少人数学級です。①市独自に教員を増やし、全ての学年で少人数学級を実施すべきではないか。そのために何人の教員が必要か。困難な児童・生徒には、授業中に個別指導を行うべきです。②普通学級学習支援助手の配置状況はどうなっているのか。③支援助手を増員し、個別指導できるようにすべきではないか。

○学務指導担当部長

①本年度新たに必要となる教員数は、小学校26人、中学

校1人です。②小学校24校に32人、中学校13校に16人配置しています。③各学校の実態やニーズを伺いながら、児童生徒一人一人に応じた支援を行うよう適切な配置に努めてまいります。

○教育長

春日部メソッドの伝え合い学び合い、育ち合いの活動を充実させ、どの子にも知徳体バランスのとれた確かな学力を身に付けさせるよう引き続き学校を支援してまいります。

このほか

○子育て費用の負担軽減で少子化対策・人口減少対策を

「住みたくなる春日部を 目指して」について



石川 友和
議員

現在日本は、人口減少社会を迎えたとされており、我が愛する春日部市も減少傾向にあります。

人口減少から人口増へ大きくシフトチェンジしていくためには、現在、人口増となっている自治体を研究する事も重要だと思えます。

それらを踏まえまして、人口増対策について具体的に伺います。

また、それらの具体的な人口増対策の取り組みについて春日部市としては、どのように取り組もうと考えているのか伺います。

○総合政策部長

子育て支援の充実をはじめ、都市基盤の整備などさまざまな取り組みが着実に効果を上げ始めているものと考えています。

人口増加策や定住促進策については、今後も市民の皆さまの意見を伺いながら関係機関との連携を密にし、さらなる相乗効果を発揮した取り組みを進めていきます。

さまざまな事業全てが、春日部市の人口増加策や定住促進策に不可欠な事業であり、これらをきちんと、線として継続的に取り組むとともに、これら線の連携を密にするこ

とで面として、全ての世代からも事業者からも選ばれるまちづくりを積極的に取り組んでいきます。

このほか

○春日部大風マラソン大会について

学校再編について



斉藤 義則
議員

庄和北部地域の学校再編については、平成31年4月に江戸川中学校敷地内に義務教育学校を開校すべく準備が進んでいるところですが、義務教育学校の特色を生かした、どのような英語教育を進めていくのか、また子どもたちの放課後の居場所、放課後児童クラブの開設等について、どのように考えているか伺います。

○学務指導担当部長

新学習指導要領では、これまで以上に小学校段階での英語教育の充実が求められています。一部教科担任制を導入することで、小学校5年生から、より専門性の高い中学校の英語を担当する教員が指導することが可能になります。

また、中学校に配置される外国人英語指導助手ALTにより、現小学校1年生の段階から英語に親しむことができるようになります。具体的な指導計画は、今後教職員

で組織する検討会において計画してまいります。

○子育て支援担当部長

放課後児童クラブの運営は、単年度の事業としてではなく、継続して実施していくことが必要ですので、アンケート調査を実施し、結果などを基に、方向性を見極めたいと考えています。また、放課後児童クラブ以外の放課後の児童の居場所づくりについても、さまざまな事業を行っている各関係部署と連携を図りながら検討してまいります。

このほか

○農地中間管理事業について



英語の出前授業の様子

新方川堤防改修工事について



河井 美久 議員

新方川は本市の準用河川である安之堀川や中之堀川などの放流先となっていることから、この河川の改修は本市の治水対策に大きな影響を及ぼすものと考えます。

これまで下流側において整備が進められておりましたが、100ミリ安心プランに位置付けられたことで、整備のスピードも一段と速まり、いよいよ春日部市におきましても本格的に改修工事が行われるようになりました。

新方川の整備により、その流域である市西部地域の浸水被害の軽減に大いに役立つものと期待しています。

そこで新方川の改修工事これまでどのようなことを行ってきたのか伺います。

併せて、新方川の改修工事は今後どのように進んでいくのか、また、これに連動して市が管理している河川の整備はどのように進められていく

のか伺います。

○建設部長

新方川では、今回進められている河川改修事業を含め、4度の改修事業が行われています。

現在進められている改修工事は、100ミリ安心プランとして、県事業と本市の事業を一体として計画されていることから、効率的な工事を実施し、早期に浸水被害の軽減効果を発現していきたいと考えています。

このほか

○江戸川堤防改修工事について



まちづくり計画について



武 幹也 議員

北春日部駅周辺地区の都市計画マスタープランの方向性と位置付けについて、また、どのような検討を進めているのか、まちづくり基本構想の内容と今後の取り組みについて伺うとともに、以下について要望します。

①隣接する宮代町と道路整備連絡協議会を設置する②水害対策として調整池の設置や深めの側溝を活用し、最終的に強制排水をする③宮代町と協議し、隼人堀川の両岸に公園を整備し、併せて内牧小までの地理的誘導を考える④公民館と保育所の複合施設建設の4点について要望します。

○都市整備部長

北春日部駅周辺地区は、改定作業を進めている都市計画マスタープランでは、住宅系の土地利用へ転換し、地域拠点、低層住宅ゾーンの位置付けを考えています。まちづくり基本構想は地権者と市が協

働して取りまとめたもので、居住者の生活利便性を向上させるための「商業ゾーン」、

「暮らしの質向上ゾーン」の配置、地区内外との連携が図られた交通環境の形成、憩いの場、交流の場としての公園の配置などを、土地利用構想図に示しています。今後は、事業費の圧縮を図り、より実現性の高い土地利用計画の策定に取り組んでいきます。

このほか

○仮想通貨を利用した地域活性化の取り組みについて

○市民相談ハンドブックについて

幼稚園・保育園の無償化について



吉田 剛 議員

本市における重要な課題の一つに人口減少の問題があります。特に、25歳から39歳の子育て世代が転出傾向にあり、人口減少やまちの活力の低下の原因であると考えます。

私も子育て世代として、子どもの事を真剣に思えば思うほど、自分たちの経済状況で

責任を持って子育てができるのだからかという点が非常に心配になります。

そこで、人口増やまちの活力アップにつながる子育て世代への経済的支援である保育料の無償化について本市の政策として実施できないか伺います。

特に第2子以降の保育料を無償化した場合の費用等を踏まえて回答をお願いします。

○子育て支援担当部長

保育料の無償化は、子育て支援施策の一つとして、影響額など、試算も行っていますが、受益者負担の原則や公平性などの観点から原則、一定の保育料を負担していただくことが必要であると考えています。第2子以降の保育料を無償化した場合、影響額は約2億4千万円となります。

子育て支援の施策の推進については、あらゆる角度から検討し、どのような施策が子育て世代にとって効果があるか、又は負担の軽減につながるかなどを見極めていきたいと考えています。

このほか

○病児保育について

○HUG訓練について

○こどもファンドについて

議会報告会の開催

市議会では、開かれた議会の実現を目指すため、議会報告会を開催いたします。

また、市議会としての「広聴」の機能を一層拡充するため、議員がグループに分かれて、皆さまからのご意見などを伺う時間も予定しています。

なお、詳細につきましては、今後、広報かすかべや市議会ホームページでもご案内いたします。

市民の皆さまのご参加を、心よりお待ちしております。

平成29年度 議会報告会日程

| 開催日 | 会場 | 時間帯 | 担当委員会 |
|-----------|------------------------|----------|---------|
| 10月28日(土) | 市民活動センター「ぼぼら春日部」4階 会議室 | 午前10時～正午 | 総務委員会 |
| | | | 厚生福祉委員会 |
| | | | 建設委員会 |
| | | | 教育環境委員会 |

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

5月22日
平成29年6月定例会の運営について

▽広報広聴委員会

5月22日
議会報告会の開催について
行政視察結果報告書について

6月23日

議会だより第48号の発行について

7月3日

議会だより第48号の発行について

行政視察結果報告書について

7月3日

議会だより第48号の発行について

▽図書室運営委員会

6月23日
平成29年度購入図書の手続きについて

▽図書室運営委員会

平成29年度購入図書の手続きについて

次の定例会は8月21日(月)開会予定です

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。
傍聴席は56席(車イス傍聴席2席含む)です。
本会議は、通常午前10時から開催します。

今定例会傍聴状況

| 月日 | 傍聴者数 | 主な日程 |
|------|------|-------|
| 5/26 | 2 | 上程・説明 |
| 6/1 | 0 | 質疑 |
| 6/1 | 6 | 委員会 |
| 5 | 67 | 一般質問 |
| 6 | 63 | 一般質問 |
| 8 | 6 | 一般質問 |
| 12 | 24 | 一般質問 |
| 13 | 23 | 一般質問 |
| 15 | 5 | 討論・採決 |
| 合計 | 196 | |

傍聴して一言

若い人にも考えてもらえるようなアプローチがあるのではないかと思います。20代の人などにも意見を聞く場があったり、土日の議会やツイッターがあるといいと思います。

男性・17歳

初めて議会を傍聴しましたが、市役所の部長は男性ばかりで福祉部長のみ女性。現在の市政運営は男性目線です。優秀な女性を思い切つて部長にする市役所の組織改革を望みます。

男性・52歳

緊張感を持つて議事運営をされていることを傍聴して実感しました。議員各位におかれましては、予鈴以前に入場されたし。

男性・74歳

議員全員を拝見、その発言と執行部の応答を拝聴し、身が引き締まった。

男性・73歳

行政の答弁が抽象的で、具体的な内容説明に欠ける。時間的制約かもしれないが事例を挙げての答弁が欲しかった。

男性・81歳

可能ならば、プロジェクト等を用いた説明にすれば、目と目で理解が進むと思う。

男性・68歳

質問の通告書類を見ると、細かく書いてある議員と、そうでない議員がいるようです。細かく書いていない議員がどんなことを質問したいと思つたのか気になるところです。

男性・46歳

※割愛させていただいた部分もあります。

男性・46歳

編集後記

毎日暑い日が続きますが、市民の皆さまにおかれましてはいかがお過ごしでしょうか。春日部市議会では、6月定例会において新たな正・副議長が選出されるなど、議会人事の変更がありました。また、10月に開催する議会報告会は、皆さまからのご意見を基に時間を見直し開催いたします。

今後も皆さまに身近に感じられるような議会だよりの作成に努めてまいりますので、よろしくお願いたします。

広報広聴委員会

- 委員長 矢島 章好
- 副委員長 石川 友和
- 委員 水沼日出夫
- 委員 斉藤 義則
- 委員 大野とし子
- 委員 古沢 耕作
- 委員 木村 圭一
- 委員 蛭間 靖造

- オブザーバー
- 議長 滝澤 英明
- 副議長 武 幹也

〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会

TEL 048-736-1111(代表)
内線3116
再生紙を使用しています。